

1. 弥彦線乗り潰しと「きたぐに」

新 潟	05:00~(越後線	普通	吉田行き)~05:54	吉 田
吉 田	06:29~(弥彦線	普通	弥彦行き)~06:37	弥 彦
弥 彦	06:42~(弥彦線	普通	吉田行き)~06:51	吉 田
吉 田	06:54~(弥彦線	普通	東三条行き)~07:13	東 三 条
東 三 条	07:48~(信越本線	急行「きたぐに」	新潟行き)~08:29	新 潟

新潟駅でBコースと別れた我々は、05:00に発車する越後線の吉田行きに乗り込む。車両は115号。2面編成の列車だ。車内は早朝ということもあってか、かなり空いていた。部員たちはそれぞれ空いているボックス席に座り込む。私のところには誰も来なかった。iPodで音楽を聴いていると、05:54に終点の吉田駅に到着。ここから弥彦線の終点、弥生駅に行くのだが、列車が来るのは約30分後。ちょっと中に出ようかな。

駅の外を出ると、シャッターを降ろしているお店が数軒、目に入る。しかし、目の前の道路をタクシーなどの車が通るのを除くと、朝の散歩をしそうな人すらぜんぜん見当たらない。吉田駅の構内の様子が見られる近くの歩道場に行ってみる。新潟方面を見ると越後線・弥彦線の車両基地を見ることができる。みんな、同じ車両だが、新潟2次色(白地に黄緑)、新潟3次色(白地に青)、弥彦2次色(黄色、緑、白の縞模様)の3色がある。カラフルだね～。

列車の発車時刻が近づいてきたので、06:29に弥彦線の弥彦行きが発車する4番線に移動。やってきた車両は先ほどの越後線と同じ115号(弥彦2次色)だが、こちらはワンマン運転である。終点の弥彦に到着。この後は東三条に行くため、この折り返し列車に乗って、途中の吉田で乗り換える。だが、弥彦での停車時刻はたったの5分!? 駅舎の写真を撮る。弥彦駅の駅舎は、近くに弥彦神社があるため、神社の造りをした駅舎になっている。「歓迎」という大きな文字が魅力を感じさせる。写真を撮ると、すぐに列車に戻る。部員は全員車内にいたようだ。良かった。しかし、新たな壁が待ち構えていた。次に吉田で06:54に発車する東三条行きに乗り換えるのだが、乗り換え時間はたったの3分!? 18人の部員を無事全員次の列車に乗せることができるか? しかし、どうにかなったようだ。次の列車にも部員は全員車内にいた。よかった～。途中の東三条は上越新幹線との乗換駅である。弥彦線のホームは単線ホームも一面もなく、田舎っぽいのに新幹線があるため、駅舎は立派。なんか変。そんなことを思っているうちに列車は07:13、終点の東三条駅の0番ホームに到着。やった、弥彦線乗り潰した。東三条駅で朝食を購入すると、07:48に急行「きたぐに」が発車する1番ホームに移動。急行「きたぐに」は大阪と新潟を結ぶ夜行急行列車だ。新潟行きのみ新津～新潟間は快速運転となる。車両は京都総合車両所の583号。鉄道ファンからは有名な車両である。本来は10面編成での運転だが、なぜか12面編成での運転となっていた。土日切符を使う我々が乗る車両は、もちろん自由席。ここから終点の新潟まで「きたぐに」で移動。快適～。東三条～新潟間は「ムーンライトえちご」でも通ったが、やはり、真っ暗な時に通ると朝に通るのは違う。

のんびりしていると、新津駅に到着。ここで思わぬものを発見した。なんと、ホームの近くの車両基地に「SLばねえつ物語」が停まっていたのだ! しかも、客車を連結して蒸気を吐いて停まっていたのだ! !これは撮るしかない!! 停車時間は3分。なんとか撮れそうな時間だ。カメラを持ってホームに飛び出す。車掌に断ってホームの一番端の立ち入り禁止区間で写真を撮る。なんとか撮れた。やった!! すぐに車内に戻る。すごい気持ちがいい。そんな嬉しさと一緒に「きたぐに」は終点新潟に到着。

		
115 号(弥彦 2 次色) 越後線 普通列車 新潟にて	115 号(新潟 2 次色) 越後線 回送列車 吉田にて	弥彦駅駅舎
		
583 号 急行 きたくに 東三条にて	C57 形 180 号機+12 号 快速 SL ばんえつ物語号 新津にて	485 号 快速 きらきらうえつ号 きたぐにの車窓から

2. べにばな乗車と温泉へ

新 潟 08:39~(羽越本線・米坂線 快速 べにばな 米沢行き)~11:31 米 沢
米 沢 11:48~(奥羽本線 普通 山形行き)~12:20 かみのやま温泉
自由行動
かみのやま温泉 13:18~(奥羽本線 普通 山形行き)~13:31 山 形

新潟からは 08:39 発の快速「べにばな」で米沢に向かう。約 3 時間の長旅だ。車面はキハ 110 形。今までは新津運輸区の国鉄車面のキハ 58 号が運用に入っていたが、今年の 3 月のダイヤ改正で今の車面に置き換えられてしまったようだ。昔がよかったな～。白新線・羽越本線を經由して、坂町からは米坂線へと入っていく。しかし、米坂線内は各駅に停まるため、快速ではなくなってしまう。山形県の山並みが綺麗に感じられる。それにしても眠くなってきた……。しばらくしてから目を覚ますと、南米沢だ。急いで降りる支度をやる。11:31 に終点の米沢に到着。

ここから奥羽本線に乗って温泉街である、かみのやま温泉に向かう。米沢で昼飯を買う。米沢と言えば、米沢牛である。何か良いか選んでいると、弁当売りのおじさんが

「この『松川新宮』は昨年 10 月に行われた駅弁大会で優勝した駅弁なんだ。数多くの駅弁について書かれている本にも載っているよ。」

と勧めてくれたので、早速買うことに。値段は 1500 円。駅弁も買ったところで、11:48 発の奥羽本線の山形行きに乗り込

む。駅弁を食べるのはもっと後にしよう。米沢から30分ぐらいで、かみのやま温泉駅に到着。ここでBコースの人たちと再会。

俺 「コッ、飯島、順調か？温泉は良かったか？」

飯島 「お、雅博！めちゃくちゃ熱かった。気をつけろ。」

俺 「復で、いい写真を見せてやるからな。」

飯島 「バイバイ。」

という会話を終えて、駅を出ようとする、現在NHKで放送中の大河ドラマ「天地人」や映画「送リト」のポスターがあちこちに貼ってあり、『アカデミー賞受賞』という文字が目立つ。なぜなら、山形県は「天地人」の舞台であり、「送リト」のロケ地でもあるからだ。駅周辺には共同浴場や足湯がいくつかあるが、一番近い二日町共同浴場に行くことにした。だが、温泉に行くメンバーは顧問と俺を合わせてたったの3人…。まっ、いいか。

二日町共同浴場は駅から歩いて5分ぐらいのところだ。顧問とは途中の道で分かれ、中2の和田と一緒にいった。料金は200円。安い。早速、衣服を脱いでいき、浴場へ！！暖かそうだ。シャンプーを終え、体を洗い終わると湯船へ。その感想は、

「きもちい～～～～～～～～！！！！！！！！！！」

の一言。いつまでも入っていたい。そんな気持ちがいかに晴る。いい～湯だな～。

しかしどのくらい入っていたのだろうか。風呂からあがって時計を見ると、13:00…。次の列車まであと18分。時間がない！！急いで着替えると、駅まで猛ダッシュ。途中で「送リト ロケ地」と書いてある看板を見つけた。橋の上だが、花束が添えられていた。近くの小さな神社もロケ地らしい。急いで写真を撮って、駅へ走る。途中、風月堂というお土産屋さんがあったので、お土産を買うことに。急げよ、俺！！(汗)

家族へのお土産として「うづフランス・サクランボミニパイ」、友達(この旅行参加者とは別)へのお土産として「白いフランス威王」を買った。列車の発車時刻5分前にはホームにいたことができた。ここから奥羽本線の山形行きに乗って山形へ。あつという間についた。ここでBコースの人たちと合流。駅弁は次の列車の中で食べた。う～ん、肉団子とこの生善焼きがたまね～な。



キハ110形
快速へいばな号
新潟にて



400系
山形新幹線 つばさ号
米沢にて



米沢牛の模型
米沢にて

		
<p>701 号(左)と 719 号(右) 奥羽本線 普通列車 米沢にて</p>	<p>歓迎人形 米沢にて</p>	<p>二日町共同浴場</p>
		
<p>八幡神社(送り人口ケ地)</p>	<p>送り人口ケ地(橋の名前不明)</p>	<p>駅弁 松川新宮</p>